



平成28年5月30日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崔 元 根  
(コード番号 6619 東証第一部)  
問合せ先 取締役 CFO 兼経営企画本部長  
竹 居 邦 彦  
(TEL 03 - 5436 - 7155)

## 韓国における工場用地取得および生産設備投資決定のお知らせ

当社は、当社韓国子会社 W-SCOPE KOREA CO., LTD. (以下「WSK」という) が操業中の2区画に加え、新たに工場用地を取得し、韓国における新たな生産拠点を構築することといたしました。この第1段階として、下記のとおりセパレータ生産設備を4ライン増設することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

### <概要>

#### 1. 目的

当社のリチウムイオン二次電池用セパレータにおきましては現在、民生機器用途では大手リチウムイオンバッテリーメーカーからの受注拡大、電気自動車 (EV) 等の車載機器用途においてはグローバルな市場拡大を受け旺盛な需要が見込まれております。

これらを受け、WSKが使用中の梧倉科学産業団地内の敷地では6本のラインが稼働中であり、3本の建設計画が進行中であります。これらに加え、当社グループでは更なる生産能力の増強のため、新たに土地の取得を検討して参りました。当社では本年2月22日、韓国忠清北道及び忠州市と工場用地約6万坪取得に係る覚書を締結し、更に本年4月に韓国企画財政部に対し海外直接投資 (FDI) を申請して参りました。これらの進捗を受け、今般セパレータ生産設備の投資を決定したものであります。

本件は平成27年に発表した中期経営計画「Vision2017」(2015~2017年)以降の設備投資計画に着手したこととなります。

#### 2. 覚書締結内容

所在地：大韓民国忠清北道忠州市大召院面

投資総額：2022年(平成34年)までにUSD3億(315億円相当)

敷地面積：約200,000㎡

取得の方法：50年の賃貸借契約

現在韓国忠清北道が韓国企画財政部に対し租税減免地域の新設に関する許可申請を行っております。この許可申請が降り次第、当社は土地の取得に関する正式契約を締結致します。

敷地の概要は別紙資料をご参照下さい。

#### 3. 今後の推進計画

生産設備に関しましては本年7月以降装置メーカー等と契約締結、発注する予定であります。

投資金額：総額315億円相当の内、合計185億円(生産設備135億円、コーティング装置を含むその他付帯設備50億円)

投資の概要：セパレータ生産設備4ライン

量産開始予定：平成30年中

<業績への影響>

今期業績への影響はございません。今回確保の用地への設備投資計画は策定中であり、来期以降の生産能力増加に伴う業績への影響は計画を策定次第速やかに開示する予定であります。

<生産能力>

当社グループでは、第5号生産ライン（平成28年8月量産移行予定）、第8・9号生産ライン（平成29年下期量産移行予定）の合計3本の新設に加え、今般投資決定の4ラインがすべて稼働した場合、平成27年末の生産能力に対し、約250%の生産能力になると想定しております。

<その他>

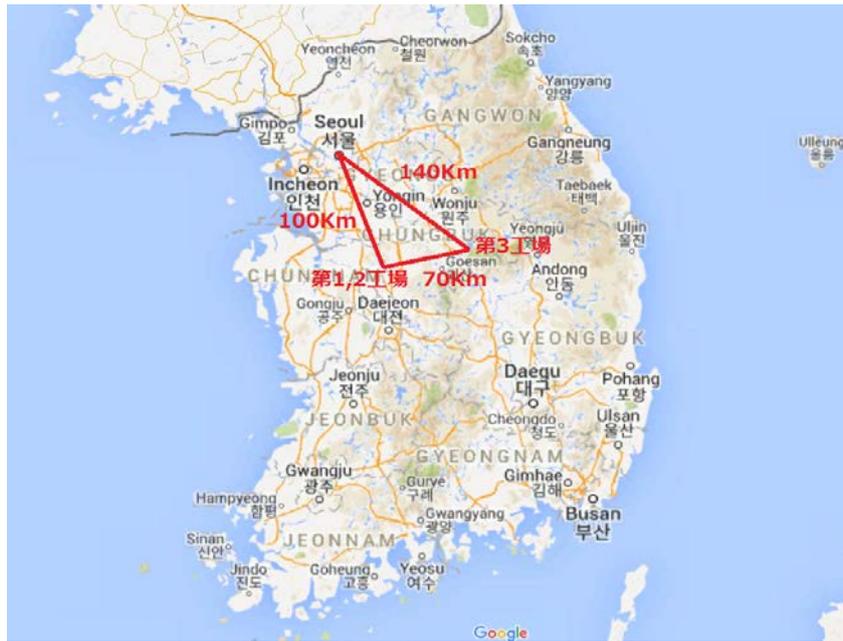
この第1段階に係る設備投資は増資資金85億円及び新たに設定見込みの銀行融資枠100億円によって充当する予定であります。

以 上

別紙

【敷地の概要】

立地：ソウルから南東に140 km、W-SCOPE KOREA（第1、第2区画）から東に70 km



【土地レイアウト図】



【用地比較】

	第1区画	第2区画	新区画
契約時期	平成17年11月	平成27年7月	平成28年下期予定
敷地面積	約76,000 m <sup>2</sup>	約35,000 m <sup>2</sup>	約200,000 m <sup>2</sup>
設置済ライン数	第1～5号(第5号は建設中)	第6～9号(第8、9号は投資決定済)	—
設置可能ライン数	7本	4本	14本
設備投資資金			総額315億円相当のうち、第1段階として生産設備135億円、コーティング装置を含むその他付帯設備50億円程度
資金調達見込み	手当済	手当済	増資資金85億円 銀行融資100億円